

アッヴィ、ボランティア週間を設け、世界で地域社会を支援

July 13, 2017

アッヴィ、ボランティア週間を設け、世界で地域社会を支援

- 6,000名を超えるアッヴィ社員が、50を超える世界中の国々で、地域コミュニティにおける実地活動にボランティアで参加。累計時間は26,000時間超
- 日本では、3年間継続して都内3カ所の児童養護施設を訪問、子どもたち50名以上を対象に「アッヴィ科学教室」を開催

アッヴィ合同会社（本社：東京都港区、社長：ジェームス・フェリシアーノ）は日本で、6月29日（木）～7月5日（水）、科学技術の教育に関連したボランティア・プロジェクトを実施しました。これは、アッヴィがグローバルで展開した2017年度ボランティア週間（ウィーク・オブ・ポシビリティ 2017）に連動した活動です。

アッヴィが日本で実施したのは、「きみも科学者！アッヴィー日科学教室」という科学技術教育のボランティア活動です。アッヴィの社員が都内複数の児童養護施設を訪問し、子供たちを対象に科学教室を開きました。この教室には合計で54名の子供たちが参加しました。科学教室では、子供たちが色鮮やかなスライムを作るのをアッヴィの社員がサポートし、科学の楽しさを伝えました。こうした科学実験のあとには、科学者であるアッヴィの社員が登場し、科学の道を志す意義を自らの体験をもって説明しました。

児童養護施設に赴いた社員は合計で54名となり、子供たちに寄せるメッセージの執筆などでプログラムをサポートした社員を合わせて100名を超える社員が日本でボランティア・プロジェクトに参加しました。

本年の日本でのボランティア・プロジェクトの実施にあたり、アッヴィは、ボランティア組織のハンズオン東京と企画から運営面まで協働しました。ハンズオン東京は、アッヴィの取り組みに対し、「児童養護施設で暮らす子供たちを対象に、科学教室を実施したアッヴィの取り組みを評価しています。子供たちの視野は、普段なかなか接する機会のない、科学に携わる大人から、科学の面白さを伝えられたことで、確実に広がりました。また、穏やかな大人との交流は、子供たちの心の安定につながったことと思います」との声明を発しました。

アッヴィは本年、世界50カ国超で6,000名を超える社員が、自宅や職場の所在する地域コミュニティで、26,000時間超の時間をボランティア活動に投じました。学校図書館や教室の改築、運動場の建設、科学技術の教育などが主な活動内容です。

アッヴィは、ウィーク・オブ・ポシビリティ 2017を全世界で計画・実施にするにあたり、ボランティア支援団体のPoints of Lights, Heart of Americaなどと協働しています。Points of Lights 上席副社長Gared Jonesは、「われわれとの協働による、アッヴィのボランティア活動は、地域コミュニティの本当のニーズにより良く応えられるよう、内容をよく検討した上で実践されました。より大きな成果をもたらすことを志向したアッヴィの活動は、企業ボランティアの可能性を示すものです」と、コメントしました。

2014年にウィーク・オブ・ポシビリティを開始した際、大半のプロジェクトはアッヴィ本社の所在するイリノイ州ノースシカゴで行われました。2015年にはその活動範囲を世界45カ国に広げ、各国の社員が、17,000時間を超えるボランティア活動を実施しました。2016年には、この活動は世界50カ国に広がり、投下時間も26,000時間に増えました。

アッヴィ 会長兼CEOのリチャード・A・ゴンザレスは、「ウィーク・オブ・ポシビリティは、地域社会の期待や人々のニーズに応えることへのわれわれのコミットメントを示すもので、私たちの企業文化を織りなす非常に重要な要素の一つです。大きな成果へと膨らみ、人々に大きなインパクトをもたらすだろうこの活動に誇りを感じています」と述べました。

アッヴィについて

アッヴィは、世界で最も複雑かつ深刻な疾患に対する革新的な先進治療薬の開発に努める研究開発型のグローバルなバイオ医薬品企業です。その専門知識、献身的な社員、イノベーション実現に向けた独自の手法を通じて、自己免疫疾患、オンコロジー、ウイルス感染症およびニューロサイエンスの4つの主要治療領域での治療を大きく向上させることをミッションに掲げています。世界中の人々が持つ健康上の課題への解決策を進歩させるため、75カ国以上の国でアッヴィ社員が日々取り組んでいます。アッヴィの詳細については、www.abbvie.comをご覧ください。

よろしければTwitterアカウント@abbvieもフォローください。また、人材情報はFacebookやLinkedInページをご参照ください。

日本においては、アッヴィ合同会社の約1,000人の社員が、医療用医薬品の研究・開発や販売に従事しています。自己免疫疾患・新生児・肝疾患・ニューロサイエンスの各領域を中心に、患者さんの生活に大きく貢献できることを願っています。詳しくは、www.abbvie.co.jpをご覧ください。

アッヴィ財団について

アッヴィ財団は、米国の501(c)(3)団体に該当する非営利団体です。強固なコミュニティ、持続可能な医療システム、効果的な教育プログラムの構築を通して、十分なサービスを受けていない世界の人々の生活に大きな影響を及ぼす活動を行っています。詳しくは、www.abbviefoundation.orgをご覧ください。